



れんまぐら

第67号 発行 令和8年 2月20日

令和8年度の活動に向かつてのご挨拶

草津市ボランティア連絡協議会 会長 大脇 正美

皆様におかれましては、日頃より、草津市ボランティア連絡協議会
に対し、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

また、地震発災後2年が経ちました能登半島地震の復興は、まだま
だはまだかどっていない状況であり、未だ不自由な生活を送っておられる
方へ福祉の手が届くように一日も早く安心・安全な生活に戻ることを
祈っています。草津市ボランティア連絡協議会は、会員相互の交流、
組織の連携を目的として運営を図っており、草津市ボランティア連絡
協議会にグループを登録していただいた団体と連携しながら事業活動
を展開し、着実に実施していくとともに災害時の災害ボランティアとしても視野を広げ活動して
いく土壌作りを進めながら、更なる発展を願い事業活動を行ってまいります。



1987年に創設した草津市ボランティア連絡協議会は、今年で39年の歴史を刻んでまいり
ました。これまでの先人のご尽力の足跡を振り返り、更なる発展に努力してまいります。各種ボ
ランティアグループの皆様におかれましては、令和8年度も引き続きボランティア活動を通じ
て、交流・つながりを図りながら活動をより広げていくために、ご努力を積み重ねていただけれ
ばと思っています。

今後とも皆様のご助言、ご協力を賜り、ボランティア連絡協議会を遂行してまいる所存であり
ます。どうぞ令和8年度もよろしくお願い申し上げます。

令和8年度の活動に向かってのご挨拶

草津市長 橋川 渉

立春を過ぎ、穏やかな春の訪れに待ち遠しさを感じつつ、4月から始まる新年度に思いを馳せる頃となりました。草津市ボランティア連絡協議会の皆様におかれましては、日頃より地域福祉の向上に御尽力いただいております。その献身的な取組に深く敬意と感謝を申し上げます。

現代社会においては、人と人とのつながりの希薄化が問題視されており、地域住民同士の助け合い・支え合いを推進していくことが重要となっております。このような中、地域の課題に寄り添いながら継続していただいている皆様の活動は、本市の地域福祉を支える礎であり、誰もが安心して生活できる地域共生社会の実現につながるものと考えております。

本市では、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とした「第5期草津市地域福祉計画」がスタートします。いつまでも健幸で地域力のあるまち草津をめざして、これまでの取組の成果を活かしながら、引続き、各施策のより一層の展開を図ってまいりたいと考えております。皆様には今後ともお力添えを賜り、地域の絆を深めていただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様の益々の御健勝と御活躍を心よりお祈りして御挨拶とさせていただきます。



令和8年度の活動に向かってのご挨拶

草津市社会福祉協議会 会長 清水 和廣

日頃は、草津市社会福祉協議会ならびに草津市ボランティアセンターの事業に対し、格別の御支援と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

草津市における地域福祉の推進において、ボランティア活動は、住民同士のつながりを育み、地域の福祉力を高めるうえで欠かすことのできない重要な役割を担っております。草津市ボランティア連絡協議会の皆様には、長年にわたり多様な活動を展開され、住民が安心して住み続けられるまちづくり、支え合いの基盤づくりに大きく寄与していただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

本会といたしましても草津市ボランティア連絡協議会の皆様と連携を一層強化し、ボランティア活動の裾野を広げるとともに、各団体の活性化に向けた取組を着実に進めてまいります。そして、第4次草津市地域福祉活動計画の基本理念である「だれもがこころ温かく支え合い 住みつけたい 福祉のまちづくり」の実現に向け、ボランティアの力がより一層発揮される環境づくりに努めてまいります所存でございます。

引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、草津市ボランティア連絡協議会の皆様の御健勝と御発展を祈念し、新年度に向けたご挨拶とさせていただきます。



後 期 活 動 報 告

令和7年度草津市ボランティア連絡協議会 会員交流会報告

令和7年度会員交流会は、9月24日（水）13:00～キラリエ草津6階大会議室で42名の参加者で盛大に開催いたしました。オープンセレモニーとして、澤田誠一さんの出前クラリネット・ソロ演奏「愛の賛歌」で始まり、主催者挨拶として、草津市ボランティア連絡協議会の大協会長の挨拶、引き続き来賓の草津市健康福祉部の黒川克彦部長様ならびに草津市社会福祉協議会の清水和廣会長様との挨拶を賜り、会員交流会が開始されました。

今回の発表団体数は5団体、ステージでの演奏が4団体と活動紹介が1団体でした。交流会のトップバッターは、「澤田誠一」さんのクラリネット演奏から優しさと暖かさを感じさせていただきました。

次に、「花架拳」さんの中国舞術の舞をご披露していただき、優雅な中に軽快なリズムで足や腰の柔軟な曲線美のある踊りを見せていただきました。次に、「わくわく健康マーじゃん」さんによる活動紹介の説明をお聞きし、頭の体操を行うことで、認知症防止など健康な心身を保てるサークルと紹介いただきました。

次に、「バルーンアート・ひよこの風船屋」さんによるパフォーマンスと会員の皆さんが棒状の風船をもって、苦戦をしながら刀の作り方を体験いたしました。最後に、「くさつ笑いヨガ」さんは、会場の参加者の皆さんと一緒に、体を動かしながら笑いヨガを体験し、楽しく、笑いの中になごやかな雰囲気になりました。来年度も引き続き会員さんの活動紹介をお願いし、会員同士の交流につなげていきたいと考えています。





令和7年度草津市社会福祉功労者表彰

社会福祉法人草津市社会福祉協議会が長年にわたり社会福祉に貢献、ご尽力され功績のあった団体、個人を社会福祉功労者とする表彰式が令和7年9月27日（土）に、キラリエ草津の6階大会議室で行われました。

今年度は、草津市社会福祉協議会設立70周年記念式典ならびに草津市社会福祉功労者表彰式・特別感謝状贈呈式を開催され、私達の仲間である「四代目桜川梅昇社中」と、「狼我和音」さんの2団体が表彰を受賞されました。

この後、記念講演（第1回福祉講座）として、講師の公益財団法人さわやか福祉財団の清水肇子理事長様から、「支え合いの地域づくりを共に～誰もが心温かく支え合い住み続けたい草津市を目指して～」と題して、福祉のまちについて講演をお聞きいたしました。



令和7年度草津市ボランティア連絡協議会会員研修会の報告

令和7年11月27日（木）にキラリエ草津5階501会議室にて、会員22名の参加者で、研修会を開催いたしました。

会員研修会の内容は、「日頃の備えと行政との連携」を草津市総合政策部危機管理課の津村悠馬様に、そして「災害時における草津市社会福祉協議会と草津市ボランティア連絡協議会とのかかわりの大切さ」を草津市社会福祉協議会の内田萌花様に講演をお願いして、災害時におけるボランティアの活動について、少しでも知識を得てもらおうと企画し、開催いたしました。

当日は、主催者の草津市ボランティア連絡協議会大協会長より開会の挨拶後、草津市社会福祉協議会永池孝志事務局長様より来賓挨拶をしていただき、草津市健康福祉部健康福祉政策課の森愛加様にもご拝聴していただきました。

この研修会を通じて、「自分の命は自分でまもる」として日頃の備えをどのようにすべきか？、また災害発生時における、災害ボランティアセンターの活動をどのように進めるか？を理解していただいたと思います。

何時起こるかわからない地震災害、自然災害におけるボランティア活動に、少しでも携わってくださることをお願いします。

この研修会が意義のあるものとして、今後も災害ボランティア活動の在り方について、深く取り組んでまいります。ありがとうございました。



令和7年度草津市ボランティア連絡協議会 新年会員交流会報告

令和7年度新年会員交流会は、令和8年1月22日（木）10：30～、会場は、アーバンホテル草津のコスモスの会議室で健康講座を行い、終了後は、1階のラベンダー草津レストランで会食を行いました。当日の参加者は22名でありましたが、有意義な交流会が出来ました。

第一部は、健康講座～日常の健康管理～を開催し、社会医療法人 誠光会の介護リハビリテーション課 理学療法士 高田 海斗（たかだ かいと）様を講師としてお招き、「フレイル・転倒を予防する為の運動と知識」をテーマに講演をしていただきました。

「フレイルとは、加齢に伴う予備能力の低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態を指し、身体的な問題のほか、認知機能の衰えなどの精神・心理的問題、独居や経済的困窮などの社会的問題などから成り、要介護状態の前段階と位置づけられています」

「サルコペニアは、筋肉が減り、からだの機能が低下した状態を指し、握力が低下しているか（男性26kg未満、女性18kg未満）、または歩く速度が低下していて（0.8m/秒以下）、検査で筋肉量が基準より減少していることが認められると、サルコペニアと診断されます」との説明をしていただき、自分の握力はどれだけあるだろうか？と多くの方が握力計で診断する体験やフレイル予防体操を皆さんに行っていたいただき、少し体が熱くなったとの感想を聞きました。

第二部は、「お互いを知ろう！」とラベンダー草津レストランでランチを会食しながら交流を行いました。自己の団体紹介や活動紹介をしていただき、和やかな雰囲気の中、活動の大変さや、悩み等、思い思いを語りながら、1時間半の時を過ごすことが出来、新年会員交流会を無事終えることが出来ました。





【編集後記】

新年交流会の翌日、当協議会副会長の田淵稔子様（V.メロン所属）が急なご病気のため死去されました。前日のランチでもお元気に話をされておりましたが、役員一同も突然のことで大変おどろいております。これまでのボランティア連絡協議会に対するご厚情に深く感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします